

平成26年度第1四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では持ち直し、一方非製造業では後退感が強まる

コメント：【製造業】

売上(出荷)額において、三カ月前比では▲8.6から20.7回復し12.1と2期連続の上昇。消費税増税前の駆け込み需要も影響しかなりの回復幅で、平成19年の調査以降最も高い水準となった。対前年比では20.0から7.9悪化し12.1と悪化傾向の動きが見られた。三カ月後予測では0から15.2となっており多くの事業所で今後の見通しは改善を予想。景況感において、三カ月前比では▲2.9から0.1悪化し▲3.0とほぼ横ばい。売上増は感じているも景況感に関しては厳しい見方をされている。対前年比では17.1から8.0悪化し9.1となっており昨年と比較し緩やかに回復テンポに動く。三カ月後予測では▲8.6から8.6回復し0と売上高同様に回復を期待する回答が多かった。

消費税増税による影響について、6割以上の事業所が「影響がある」と回答。増税前による駆け込み需要からの反動減との回答が最多であった。

今期調査では増税前の一時的な売上増が影響したこともあり、数値的には回復しているものの、昨年比では目立った回復は見られない。消費税増税がどの程度影響してくるのか、今後の調査が期待される。

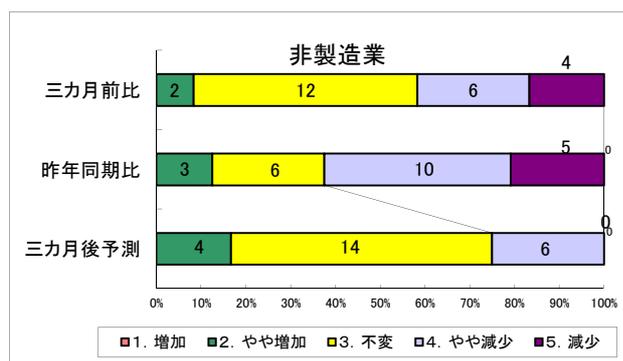
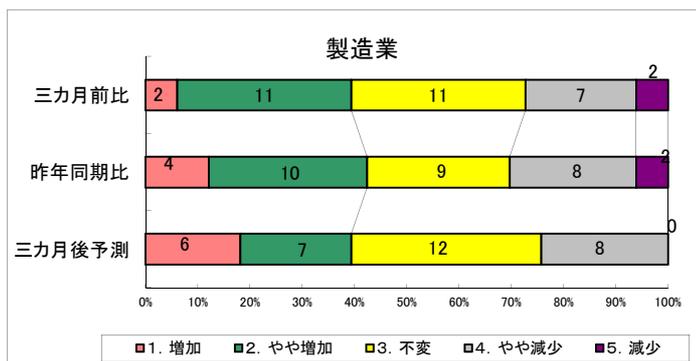
【非製造業】

売上(出荷)額において、三カ月前比では▲46.2から12.9回復し▲33.3と若干は回復に動いたものの依然厳しい状況である。今後持ち直しの動きが見られるか注目される。対前年比では▲19.2から30.8悪化し▲50.0とかなりの下落幅で、両業種とも三カ月前比とは逆の動きとなった。三カ月後予測では▲19.2から10.9回復し▲8.3と若干の回復となり、製造業ほどではないが緩やかに改善の見通し。

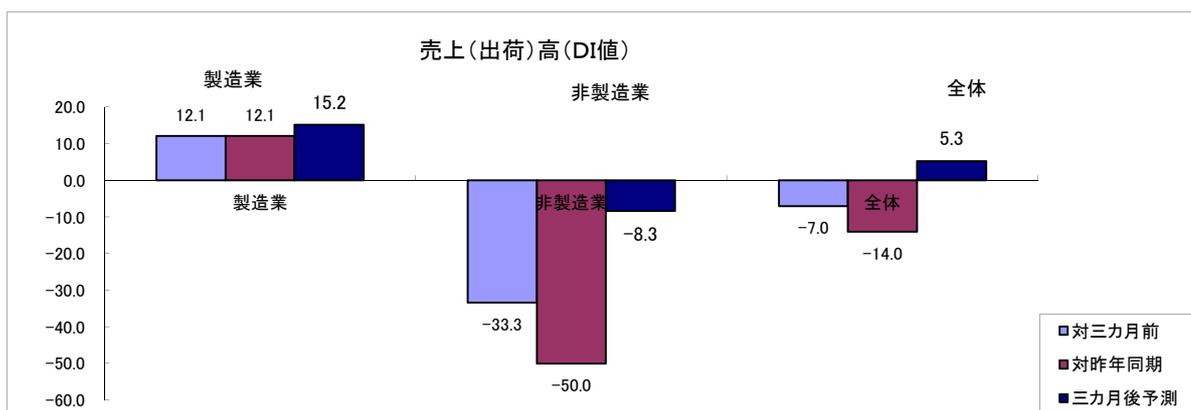
景況感において、三カ月前比では▲30.8から19.2悪化し▲50.0と後退感に歯止めがかからず、予断を許さない状況が続く結果となった。対前年比では▲23.1から39.4悪化し▲62.5と悪化幅は緩やかになっているがかなり厳しい水準まで落ち込んでいる。三カ月後予測では▲15.4から7.1回復し▲8.3と両業種とも改善を予想しており、次期以降の調査が期待される。

消費税増税による影響について、増税より1ヶ月であったが8割近くの事業所が「影響がある」と回答。仕入価格の上昇や来客数の減少の影響がでている事業所が目立った。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	12.1	12.1	15.2	-8.6	20.0	0.0
非製造業	-33.3	-50.0	-8.3	-46.2	-19.2	-19.2
全体	-7.0	-14.0	5.3	-24.6	3.3	-8.2

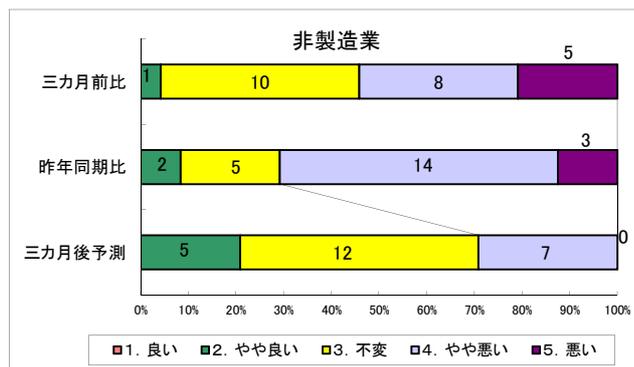
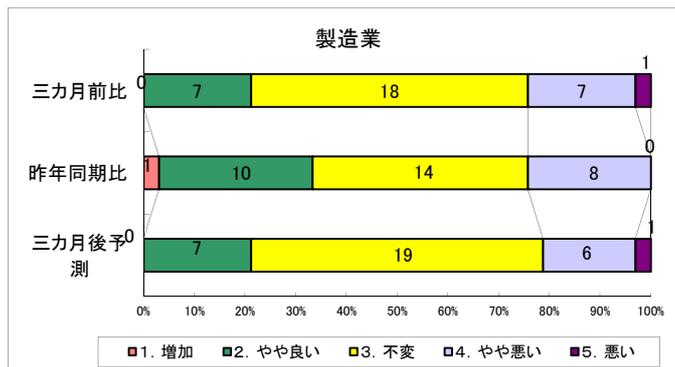


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲8.6から20.7回復し12.1と消費税増税前の駆け込み需要も影響し2期連続して20ポイントを上回る回復幅で、平成19年の調査以降最も高い水準となった。非製造業では▲46.2から12.9回復し▲33.3と若干は回復に動いたものの依然厳しい状況である。今後持ち直しの動きが見られるか注目される。

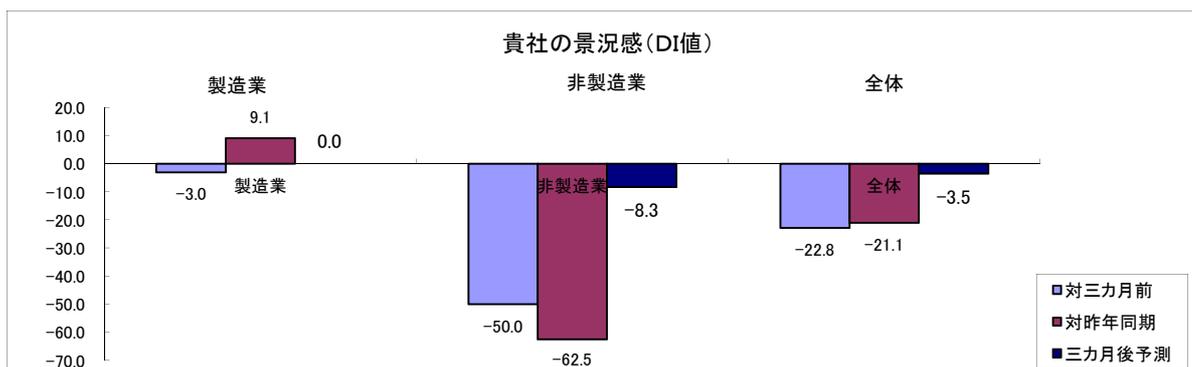
対前年比において、製造業では20.0から7.9悪化し12.1と悪化傾向となり、非製造業でも▲19.2から30.8悪化し▲50.0とかなりの下落幅で、両業種とも三カ月前比とは逆の動きとなった。状況としては両業種に差が見られ、非製造業ではかなり厳しい水準となっている。

三カ月後予測において、製造業では0から15.2となっており多くの事業所で売上増を予想。非製造業では▲19.2から10.9回復し▲8.3とこちらも若干の回復となり、消費税増税がどの程度影響してくるのか次期以降の調査が期待される。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-3.0	9.1	0.0	-2.9	17.1	-8.6
非製造業	-50.0	-62.5	-8.3	-30.8	-23.1	-15.4
全体	-22.8	-21.1	-3.5	-14.8	0.0	-11.5

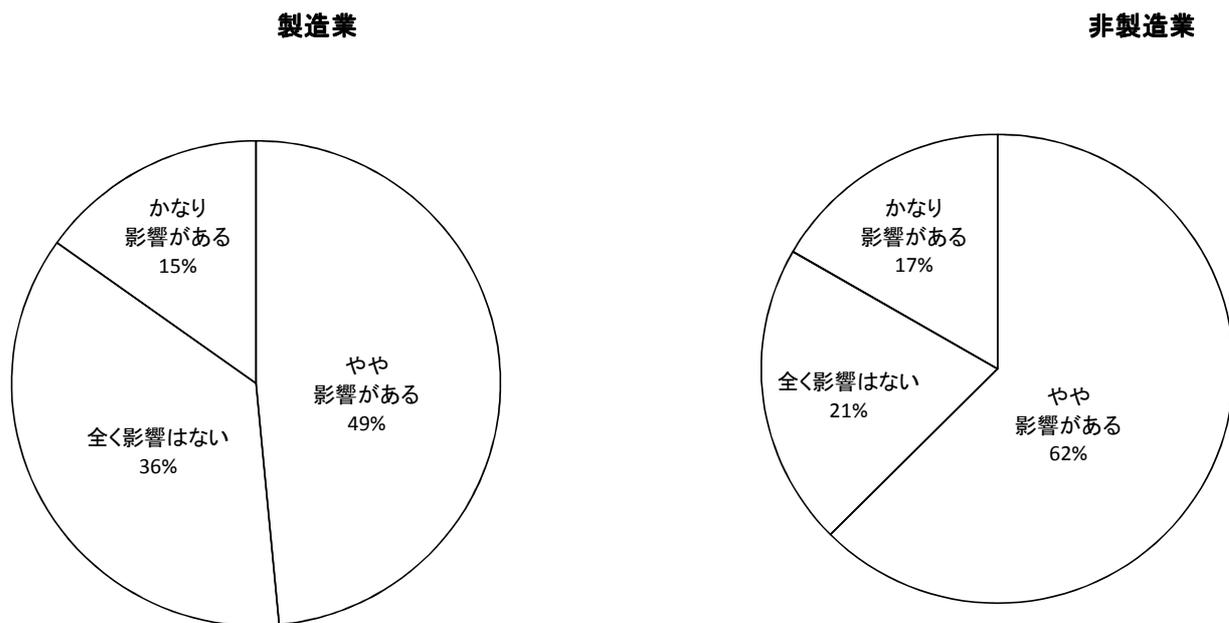


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲2.9から0.1悪化し▲3.0とほぼ横ばいでの動き。売上増は感じているも景況感に関しては厳しい見方をされている。非製造業では▲30.8から19.2悪化し▲50.0と後退感に歯止めがかからず、予断を許さない状況が続く結果となった。

対前年比において、製造業では17.1から8.0悪化し9.1となっており昨年と比較し緩やかに回復テンポに動く。非製造業では▲23.1から39.4悪化し▲62.5と悪化幅は緩やかになっているがかなり厳しい水準である。

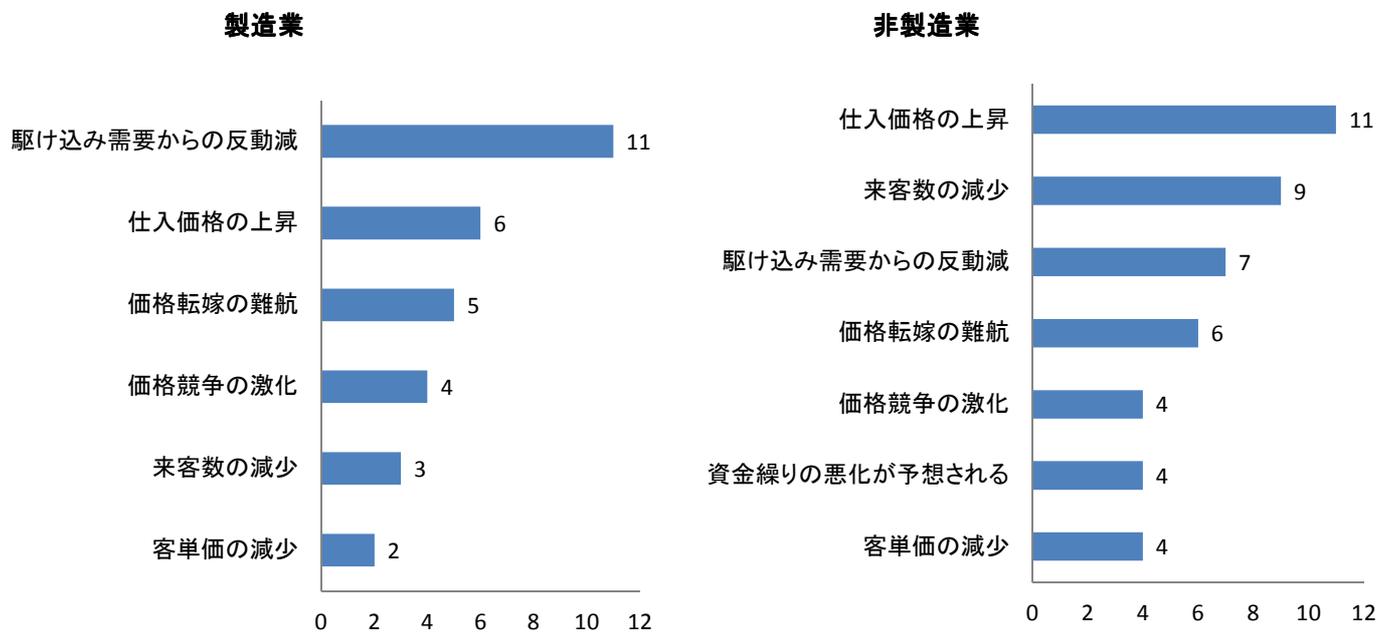
三カ月後予測において、製造業では▲8.6から8.6回復し0。非製造業でも▲15.4から7.1回復し▲8.3と両業種とも改善を予想しており、次期以降の調査が期待される。

3、平成26年4月より消費税が8%へ増税されましたが、貴社への影響は？（単一回答）



消費税増税より1ヶ月経過し、製造業で64%（21社）、非製造業で79%（19社）が影響があると回答。その内製造業で15%（5社）、非製造業で17%（4社）が「かなり影響がある」と回答している。

4、「影響がある」と回答された方にお聞きします。どのような影響がありましたか？（複数回答可）

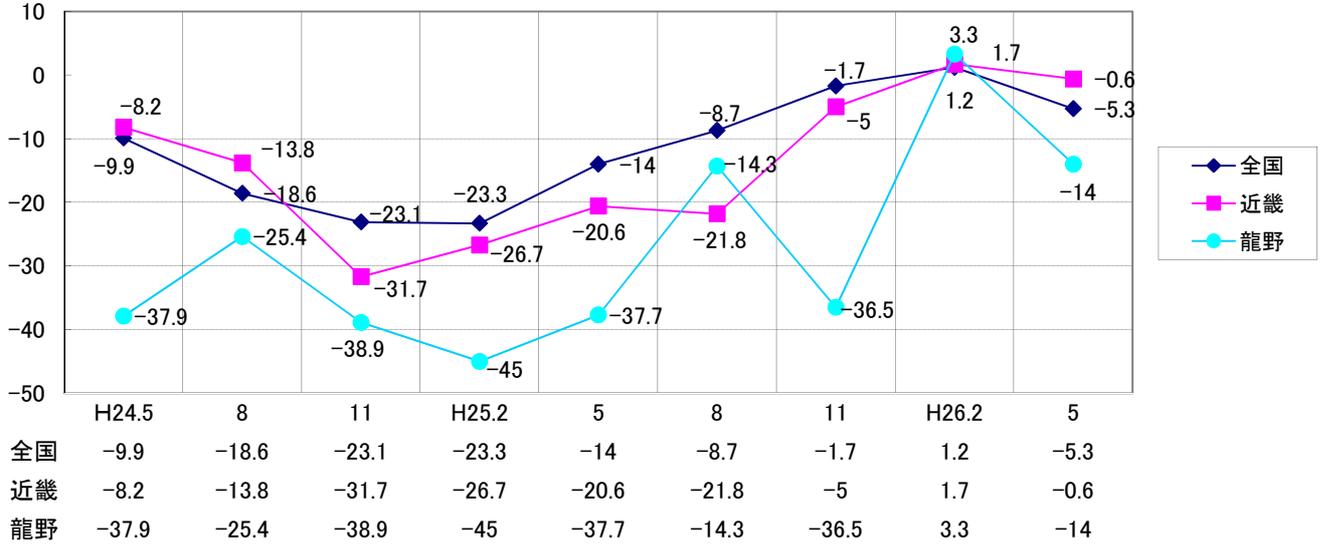


有効回答者数 製造業:21 非製造業:19

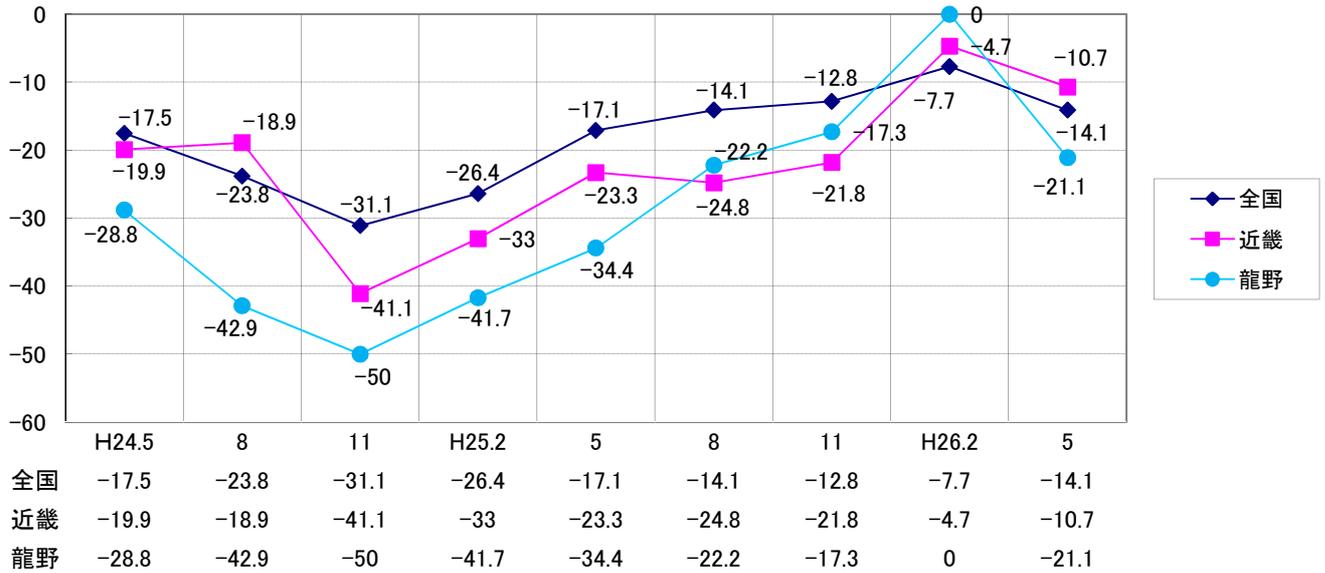
影響の内容として、製造業では増税前の駆け込み需要からの反動減と約半数の事業所が回答。非製造業では消費税増税による仕入価格の上昇、来客数の減少と回答した事業所が目立った。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



貴社の景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H26. 5の数値は4月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成26年4月30日～5月9日(基準日5月1日)
3. 調査方法 FAXIにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員 128社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 回答企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	22
建設業	17
醤油工業	7
食品工業	13
皮革工業	17
公益業	17
サービス業	9
理財	8
商業	18
合計	128

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	76	33	43.4%
非製造業	52	24	46.2%
合計	128	57	44.5%